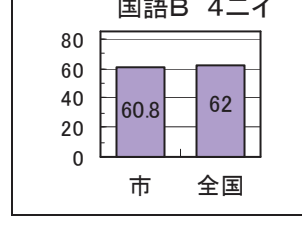
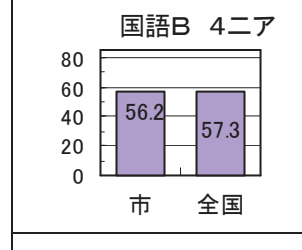
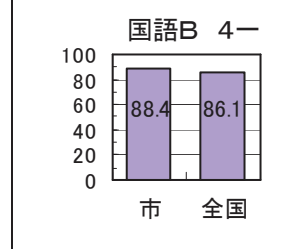
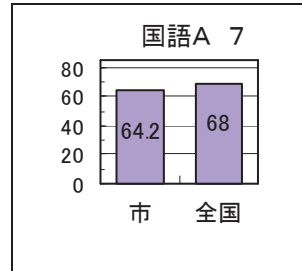


◇正答率からみた現状

	設問	出題の趣旨	市	全国	差
A	7	司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進める。	64.2	68.0	-3.8
B	4一	目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出す。	88.4	86.1	2.3
	4ニア	目的や意図が伝わるように話の組立てを工夫しながら説明する。	56.2	57.3	-1.1
	4ニイ		60.8	62.0	-1.2



☆国語A「知識」に関する問題

- 無解答率が17.3%と高く、題意が正しく把握できない、あるいは、どのように表現すればよいのか分からない、という問題が考えられる。

☆国語B「活用」に関する問題

- 「作戦図から必要な情報を取り出し整理する」については、8割を大きく越す正答率であり、概ね達成しているといえる。
- 作戦図そのものの意味がとらえにくいというに、攻め方の文章と作戦図を照らし合わせながら、ア・イの文章を作っていくことが困難であった。また、一つの図の中に複数の動きが入っている図の説明はほとんど経験がない。

◇課題等

- 課題1 司会の役割や働きをとらえて、話し合いを計画的に進めることができる力を育てること。
- 課題2 目的や意図に応じて話の組み立てを工夫しながら、図を使い説明できる力を育てること。

◎ 課題に関連する単元とその背景にある問題点

【課題1】 《A 知識に関する課題》

◇関連する単元

□3年：「名前をつけよう」、4年：「話し合って決めよう」、5年：「失敗をめぐって」、6年：「学級討論会をしよう」

◇背景にある問題点

- ▼ 学年の発達段階に応じた話し合いの力が身につけていない。(司会の経験、基本話形、形態の工夫不足。)

【課題2】 《B 活用に関する課題》

◇関連する単元

3年：「道あんないをしよう」、4年：「調べて発表しよう」、「伝え合うということ」  
5年：「本は友達」、「人と「もの」とのつき合い方」、6年：「共に考えるために伝えよう」

◇背景にある問題点

- ▼ 話す内容と資料との整合、適切な時間やタイミングでの資料の提示が困難。事物や事柄といった静的なものの説明や、手順や方法といった動的なものを説明する経験が乏しい。

## 課題1の対応策

### 指導のねらい

- ・ 合意点を見つけようとして発言し、話し合いによって物事を決める楽しさが味わえるようにする。

### 授業例

4年：「話し合って決めよう」

学習内容・活動	指導上の留意点
<p>少人数で話し合ってよりよい意見にまとめよう。</p>	
<p>1 少人数で話し合いをしたり、観察したりする。</p> <p>(1) 5人程度のグループに分かれ、進行係・話し合いの課題を決める。</p> <p>(2) Aグループが話し合い、Bグループが観察する。</p> <p>(3) Bグループは、Aグループに感想や意見を述べる。</p> <p>(4) AとBの役割を代えて(2)(3)を同様に行う。</p> <p>2 グループごとで自分たちの話し合いをふり返る。</p> <p>3 よりよい話し合いについて、みんなで確かめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話し合いの手引きや、教科書の「たいせつ」をもとにして話し合ったり観察したりすることを確認する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>進行係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ところどころで意見を整理する。</li> <li>・ 意見が出つくしたところで、結論をまとめ、参加者に確かめる。</li> </ul> <p>参加者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他の意見を取り入れてよい案を考える。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1グループの話し合いをみんなで見たり、全体を4つのグループに分けて、話し合いをしたりするなど、学級の数に応じて考慮する。</li> <li>・ 誰もが進行係を経験できるように、課題をかえて話し合いを何度かもつようにする。</li> </ul>

## 課題2の対応策

### 指導のねらい

- ・ 「ごみ問題」について調べた内容や感想が、クラスの友達に分かりやすく伝わるように、組立てを工夫して話すことができるようにする。

### 授業例

5年：「人と「もの」との付き合い方」

学習内容・活動	指導上の留意点
<p>ごみ問題について課題を決めて調べたことを、聞く人によく分かるように話の組み立てを工夫し必要に応じて、図表、写真、具体物を見せながら説明しよう。(発表練習)</p>	
<p>&lt;発表例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家や学校のゴミについて：1週間分のゴミの量と種類・へらすための具体的なアイデア</li> <li>○ 昔の暮らしから学ぶ：江戸時代のリサイクル業をイラストと箇条書きで説明。</li> <li>○ 物の来歴：鉛筆はどこで作られどのようにして手元に届くか。製作工程を図や写真で表す。</li> <li>○ 再利用の工夫：リサイクルの実態・牛乳パックやペットボトルの再利用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 声量、速さ、抑揚等について確認する。</li> <li>・ データをグラフ化した場合は、グラフを指し示しながら分析結果を述べるよう助言する。</li> <li>・ イラストの大きさを見やすく工夫し、多くのリサイクル業を分類して説明するよう助言する。</li> <li>・ 製作工程は順を追って指し示しながら、説明できるようにする。(写真も効果的に提示)</li> <li>・ 牛乳パックやペットボトルの簡単な再利用法を実際に作りながら説明できるようにする。</li> </ul>

※ 国語以外でも、実際に調べたり、考えたりしたことを図等で表して伝える様々な場面で

- ・ 体育： バスケットボールやサッカー、ソフトボールなどの作戦図をもとに、話の組み立てを工夫しながらチームの攻め方を説明。
- ・ 社会： 「わたしたちの生活と工業」では、単元末に「水素を使って走る車」を描いて工夫点を説明。
- ・ 図工： 工作などの完成予想図の説明。
- ・ 遊びの中で： 図や絵を使って新しい遊びやゲームのルールを分かりやすく説明。

意識して指導を繰り返す。